

黙示録 18 : 1-19 : 6

「神がバビロンを裁かれる。ハレルヤ！」

18:1 この後、私は、もうひとりの御使いが、大きな権威を帯びて、天から下って来るのを見た。地はその栄光のために明るくなった。18:2 彼は力強い声で叫んで言った。「倒れた。大バビロンが倒れた。そして、悪霊の住まい、あらゆる汚れた霊どもの巣くつ、あらゆる汚れた、憎むべき鳥どもの巣くつとなった。18:3 それは、すべての国々の民が、彼女の不品行に対する激しい御怒りのぶどう酒を飲み、地上の王たちは、彼女と不品行を行い、地上の商人たちは、彼女の極度の好色によって富を得たからである。」18:4 それから、私は、天からのもう一つの声がこう言うのを聞いた。「わが民よ。この女から離れなさい。その罪にあずからないため、また、その災害を受けないためです。18:5 なぜなら、彼女の罪は積み重なって天にまで届き、神は彼女の不正を覚えておられるからです。18:6 あなたがたは、彼女が支払ったものをそのまま彼女に返し、彼女の行いに応じて二倍にして戻しなさい。彼女が混ぜ合わせた杯の中には、彼女のために二倍の量を混ぜ合わせなさい。18:7 彼女が自分を誇り、好色にふけたと同じだけの苦しみと悲しみを、彼女に与えなさい。彼女は心の中で『私は女王の座に着いている者であり、やもめではないから、悲しみを知らない』と言うからです。18:8 それゆえ一日のうちに、さまざまの災害、すなわち死病、悲しみ、飢えが彼女を襲い、彼女は火で焼き尽くされます。彼女をさばく神である主は力の強い方だからです。18:9 彼女と不品行を行い、好色にふけた地上の王たちは、彼女が火で焼かれる煙を見ると、彼女のことで泣き、悲しみます。18:10 彼らは、彼女の苦しみを恐れたために、遠く離れて立っていて、こう言います。『わざわいが来た。わざわいが来た。大きな都よ。力強い都、バビロンよ。あなたのさばきは、一瞬のうちに来た。』18:11 また、地上の商人たちは彼女のことで泣き悲しみます。もはや彼らの商品を買う者がだれもいないからです。18:12 商品とは、金、銀、宝石、真珠、麻布、紫布、絹、緋布、香木、さまざまの象牙細工、高価な木や銅や鉄や大理石で造ったあらゆる種類の器具、18:13 また、肉桂、香料、香、香油、乳香、ぶどう酒、オリーブ油、麦粉、麦、牛、羊、それに馬、車、奴隷、また人のいのちです。18:14 また、あなたの心の望みである熟したくだものは、あなたから遠ざかってしまい、あらゆるはでな物、はなやかな物は消えうせて、もはや、決してそれらの物を見いだすことができません。18:15 これらの物を商って彼女から富を得ていた商人たちは、彼女の苦しみを恐れたために、遠く離れて立っていて、泣き悲しんで、18:16 言います。『わざわいが来た。わざわいが来た。麻布、紫布、緋布を着て、金、宝石、真珠を飾りにしていた大きな都よ。18:17 あれほどの富が、一瞬のうちに荒れすたれてしまった。』また、すべての船長、すべての船客、水夫、海で働く者たちも、遠く離れて立っていて、18:18 彼女が焼かれる煙を見て、叫んで言いました。『このすばらしい都のような所がほかにあろうか。』18:19 それから、彼らは、頭にちりをかぶって、泣き悲しみ、叫んで言いました。『わざわいが来た。わざわいが来た。大きな都よ。海に舟を持つ者はみな、この都のおごりによって富を得ていたのに、それが一瞬のうちに荒れすたれるとは。』18:20 おお、天よ、聖徒たちよ、使徒たちよ、預言者たちよ。この都のことで喜びなさい。神は、あなたがたのために、この都にさばきを宣告されたからです。」18:21 また、ひとりの強い御使いが、大きい、ひき臼のような石を取り上げ、海に投げ入れて言った。「大きな都バビロンは、このように激しく打ち倒されて、もはやなくなって消えうせてしまう。18:22 立琴をひく者、歌を歌う者、笛を吹く者、ラッパを鳴らす者の声は、もうおまえのうちに聞かれなくなる。あらゆる技術を持った職人たちも、もうおまえのうちに見られなくなる。ひき臼の音も、もうおまえのうちに聞かれなくなる。18:23 ともしびの光は、もうおまえのうちに輝かなくなる。花婿、花嫁の声も、もうおまえのうちに聞かれなくなる。なぜなら、おまえの商人たちは地上の力ある者どもで、すべての国々の民がおまえの魔術にだまされていたからだ。18:24 また、預言者や聖徒たちの血、および地上で殺されたすべての人々の血が、この都の中に見いだされたからだ。」

19:1 この後、私は、天に大群衆の大きい声のようなものが、こう言うのを聞いた。「ハレルヤ。救い、栄光、力は、われらの神のもの。19:2 神のさばきは真実で、正しいからである。神は不品行によって地を汚した大淫婦をさばき、ご自分のしもべたちの血の報復を彼女にされたからである。」19:3 彼らは再び言った。「ハレルヤ。彼女の煙は永遠に立ち上る。」19:4 すると、二十四人の長老と四つの生き物はひれ伏し、御座についておられる神を拜んで、「アーメン。ハレル

ヤ」と言った。19:5 また、御座から声が出て言った。「すべての、神のしもべたち。小さい者も大きい者も、神を恐れかしこむ者たちよ。われらの神を賛美せよ。」19:6 また、私は大群衆の声、大水の音、激しい雷鳴のようなものが、こう言うのを聞いた。「ハレルヤ。万物の支配者である、われらの神である主は王となられた。

導入

先週、英国では再びテロ事件がありました。

最近で3度目の襲撃です。

英国のメイ首相は、「もうたくさんです。行動を起こすべき時です」と語りました。

ある意味で、神も黙示録18章で、「もうたくさんだ。行動を起こす時だ」とおっしゃっています。ここで、神は裁きを下されます。

黙示録の最近の学びでは、多くの信徒たちが殺されることに不安を感じました。

ここからは、神がバビロンに対して報復をなさいます。

この箇所と、バビロン陥落を記したイザヤ書13-21章、そして、ツロの滅亡を記したエゼキエル書26-28章には多くの類似点があります。

神は過去、人々を裁くために、ソドムやゴモラなどの町を滅ぼされました。

一方、今回の神の裁きは、究極の裁きです。

バビロンは町でもありますが、終末時代における商業社会の象徴でもあります。

BBCやNHKなどでニュースを見ると、現代人は「グローバル経済」の世界に生きていることがわかります。

国際貿易は、相互依存の関係にあります。

中国はシルクロードの復興を望んでいます。

ロシアを経由しヨーロッパに通じる自由貿易の道を求めています。

貿易における相互依存を意味するこれほどのグローバル化は、歴史上、例を見ません。

いつか、世界の富を集約した指令所となる都市ができるでしょう。

世界情勢は、黙示録に記されたヨハネの預言の成就に着々と近づいています。

17章で、宗教の世界が破壊され、18章では、経済の世界が破滅に追いやられます。

ヨハネの預言は、神がバビロンを一瞬で滅ぼすと語ります。(10節)

そして、バビロンに属する世界は一日で滅ぼされます。(8節)

今日は、18:1-19:6を4つに分けて説明しましょう。

1. 神の裁きの宣告とその理由 (1-3節、21-24節)

ヨハネは1節で、ひとりの御使いが大きな権威をもって天から降りてきたと語ります。

この御使いは力強く、地上はその栄光で照らされました。

御使いの告げたことは「倒れた。大バビロンが倒れた。」です。

ここにヨハネの驚くべき預言があります。

現在私たちが知る世界のあり方と今後構築される世界のあり方は、完全に破壊されると預言します。

10節から、それが一瞬にして起こることがわかります。

世の中が普通に機能していても、次の瞬間には、神の裁きが下るのです。

この裁きが下される理由が2-3節と21-24節に記されています。

その理由は以下のとおりです。

a) バビロンが悪霊の住まいになった。

神の裁きが下った理由を知る上で、悪霊について知る必要があります。

では、マタイ25:41を読みましょう。

マタイ25:41 それから、王はまた、その左にいる者たちに言います。『のろわれた者ども。わたしから離れて、悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火に入れ。』

次に、黙示録12:7-9を読みましょう。

12:7 さて、天に戦いが起こって、ミカエルと彼の使いたちは、竜と戦った。それで、竜とその使いたちは応戦したが、12:8 勝つことができず、天にはもはや彼らのいる場所がなくなった。12:9 こうして、この巨大な竜、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれて、全世界を惑わす、あの古い蛇は投げ落とされた。彼は地上に投げ落とされ、彼の使いどもも彼とともに投げ落とされた。

これらの個所から、サタンに使いたちがいることがわかります。それらはおそらく、初めにサタンといっしょに墮落した御使いたちでしょう。

Ⅱ ペテロ 2:4 神は、罪を犯した御使いたちを、容赦せず、地獄に引き渡し、さばきの時まで暗やみの穴の中に閉じ込めてしまわれました。

これらの墮天使は、旧新約に登場する悪霊と同一と考えられています。私たちは悪霊に注意しなければなりません、恐れる必要はありません。聖書は、クリスチャンのうちにある力のほうが、悪霊などこの世の力よりも偉大であると教えます。

I ヨハネ 4:4 子どもたちよ。あなたがたは神から出た者です。そして彼らに勝ったのです。あなたがたのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力があるからです。

悪霊に望みはありません。悪霊は、滅ぼされる運命にあります。
(マタイ 25 : 41、ユダ 6 : 2、ペテロ第二 2 : 4)

現在、悪霊が何をしているかを知ると役に立ちます。

1. 神のみこころに対抗する。(ダニエル 10 : 10-14)
2. 神の民を苦しめる。(ルカ 13 : 16-18 年もサタンに縛られた女)
マタイ 17: 15-18.

17:15 「主よ。私の息子をあわれんでください。てんかんで、たいへん苦しんでおります。何度も何度も火の中に落ちたり、水の中に落ちたりいたします。17:16 そこで、その子をお弟子たちのところに連れて来たのですが、直すことができませんでした。」
17:17 イエスは答えて言われた。「ああ、不信仰な、曲がった今の世だ。いつまであなたがたといっしょにいななければならないのでしょうか。いつまであなたがたにがまんしていなければならないのでしょうか。その子をわたしのところに連れて来なさい。」
17:18 そして、イエスがその子をおしかりになると、悪霊は彼から出て行き、その子はその時から直った。

3. サタンの計画を実行する。(マタイ 25 : 41、12 : 26-27)

4. 神の民の信仰生活を邪魔する。(エペソ 6 : 12)
エペソ 6:12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。

5. 神の民を欺こうとする。(サムエル第一 28 : 7-20)

b) 地上の王たちは、悪霊と不品行を行った。(3 節)

ここに記された罪は、おそらく神が大洪水で地上を破壊される前にあったものと同じ罪でしょう。

創世記 6 : 4-8

6:4 神の子らが、人の娘たちのところに入り、彼らに子どもができたころ、またその後にも、ネフィリムが地上にいた。これらは、昔の勇士であり、名のある者たちであった。6:5 【主】は、地上に人の悪が増大し、その心に計ることがみな、いつも悪いことだけに傾くのをご覧になった。6:6 それで【主】は、地上に人を造ったことを悔やみ、心を痛められ

た。6:7そして【主】は仰せられた。「わたしが創造した人を地の面から消し去ろう。人をはじめ、家畜やはうもの、空の鳥に至るまで。わたしは、これらを造ったことを残念に思うからだ。」6:8しかし、ノアは、【主】の心にながらなっていた。

性的淫行が原因で神の裁きが下ります。悪霊が地上の王たちと性的な交わりを持つということかもしれません。

ルカ 17 : 26-27 は、イエスの再臨の直前が、大洪水の前に似ていると語ります。これらの個所も、イエスの再臨が突然起こることを教えてくれます。

c) バビロンは、魔術によって全世界を惑わす。(23 節)

だまされたい人は誰もいません。しかし、欺きは終末時代の象徴です。

人が偽預言者のしるしや奇跡に惑わされることはすでに学びました。

次に、商業の世界も大きく欺かれます。

では、欺きとは一体何でしょう。

うそを真実としてしまうことです。

ヨハネ 14:6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。

これが、私たちの永遠の救いに関する真理です。それ以外はすべて嘘です。ですから、騙されないでください。

d) 預言者や聖徒たちの抹殺 (24 節)

神は、ご自身の子どもたちや預言者たちが殺されたことに報復なさいます。

前回もお話したとおり、近年 90 万人もの信徒たちが殉教しています。ただ、神の子として神を礼拝し、神に従ったという理由だけで殺されたのです。

これだけでも、神の民を殺した人々に対して神が裁きを下さす十分な理由となるでしょう。

2. 神の裁きを免れる。(4-5 節)

4 節には、天からの声について記されています。

その声は、神の民にバビロンから離れるようにと警告します。

バビロンの町とその社会構造から離れることが、神が人間にもたらされる災いを免れる唯一の方法です。

神の民をこの世のあり方と隔離することは、長年議論が交わされてきたトピックです。

パウロは、コリントの教会に宛てた手紙で、この世とそのあり方との決別について明言しています。

コリント第二 6 : 11-7 : 1

6:11 コリントの人たち。私たちはあなたがたに包み隠すことなく話しました。私たちの心は広く開かれています。6:12 あなたがたは、私たちの中で制約を受けているのではなく、自分の心で自分を窮屈にしているのです。6:13 私は自分の子どもに対するように言います。それに報いて、あなたがたのほうでも心を広くしてください。6:14 不信者と、つり合わぬくびきをいっしょにつけてはいけません。正義と不法とに、どんなつながりがあるでしょう。光と暗やみとに、どんな交わりがあるでしょう。6:15 キリストとベリアルとに、何の調和があるでしょう。信者と不信者とに、何のかかわりがあるでしょう。6:16 神の宮と偶像とに、何の一致があるでしょう。私たちは生ける神の宮なのです。神はこう言われました。「わたしは彼らの間に住み、また歩む。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。6:17 それゆえ、彼らの中から出て行き、彼らと分離せよ、と主は言われる。汚れたものに触れないようにせよ。そうすれば、わたしはあなたがたを受け入れ、6:18 わたしはあなたがたの父となり、あなたがたはわたしの息子、娘となる、と全能の主が言われる。」7:1 愛する者たち。私たちはこのような約束を与えられているのですから、いっさいの霊肉の汚れから自分をきよめ、神を恐れかしこんで聖きを全うしようではありませんか。

ここにいるクリスチャンの皆さんにぜひ、コリントの教会に対するパウロの呼びかけに見られる真理に気づいていただきたいものです。この呼びかけは、すべての教会に向けられています。もちろん、OICにも向けられています。

世間の人に証できるのは、私たちが世間の人と違うからです。その違いは、聖霊に人生を支配していただくことで生まれます。

聖霊によってイエスに近づけば近づくほど、この世のものに対する欲が少なくなります。

3. 神の裁きの範囲 (6-19 節)

終末時代には、人々は金銭と富の奴隷となります。

神はこのあり方を一日で壊されます。(8 節)

そして、実際の町は一瞬で焼かれます。(9 節)

a) 裁きの重さ (6-8 節)

ヨハネは 6-8 節で、神がすべてを二倍にして抱腹なさると語ります。

これは、出エジプト 22 : 4 : 7,9 に登場するユダヤの律法に則っています。そこには、損失が起きた場合、加害者が損失を二倍にして償わなければならないとあります。

神は、この世のバビロンが神の民に負わせた苦しみを二倍にして返されます。

次に進む前に、ここでふたつ、私たちに当てはめて考えましょう。

まず、神は聖書の原則を私たちに適用されます。

その原則とは、私たちが蒔いた種を刈り取るというものです。

マタイ 7 : 1-2

7:1 さばいてはいけません。さばかれないためです。 7:2 あなたがたがさばくとおりに、あなたがたもさばかれ、あなたがたが量るとおりに、あなたがたも量られるからです。

私たちがお金のことでケチだと、神も私たちに対する金銭の祝福をケチられます。

私たちは、お金に関して慎重であると同時に惜しみない姿勢でいなければなりません。

私たちの神は惜しみなく与えてくださるお方ですから、私たちの生き方も、神のご性質を映すものであるべきです。

マタイ 6 : 14-15

6:14 もし人の罪を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してくださいます。

6:15 しかし、人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪をお赦しになりません。

これは、深く考えさせられるみことばです。

誰かのことを恨んだり、根に持ったりしていないでしょうか。

もしそうなら、今が赦すときです。

そうしなければ、いつか蒔いた種を刈り取ることになります。

蒔いた種を刈り取ることになった実例はいくらでもあります。

ですから、自分の言動によって常に良い種を蒔くよう努めなければなりません。

いつか、それが祝福か災いとなって返ってくるからです。

次に、すべての誇りはいつか打ち砕かれます。

黙示録 18:7 彼女が自分を誇り、好色にふけたと同じだけの苦しみと悲しみを、彼女に与えなさい。彼女は心の中で『私は女王の座に着いている者であり、やもめではないから、悲しみを知らない』と言うからです。

バビロンの大罪は誇りでした。

ここで、バビロンに対する大昔の裁きが再現されています。

古代ギリシャには、「ヒュブリス」と呼ばれる罪がありました。

この単語の意味は、神を必要としないと思う傲慢さを持つことでした。
この罪に対する罰は、究極の辱めでした。
ネブカデネザル王に起こったことを思い出してください。

ダニエル 4 : 28-33

4:28 このことがみな、ネブカデネザル王の身に起こった。 4:29 十二か月の後、彼がバビロンの王の宮殿の屋上を歩いていたとき、 4:30 王はこう言っていた。「この大バビロンは、私の権力によって、王の家とするために、また、私の威光を輝かすために、私が建てたものではないか。」 4:31 このことばがまだ王の口にあるうちに、天から声があった。「ネブカデネザル王。あなたに告げる。国はあなたから取り去られた。 4:32 あなたは人間の中から追い出され、野の獣とともに住み、牛のように草を食べ、こうして七つの時があなたの上を過ぎ、ついに、あなたは、いと高き方が人間の国を支配し、その国をみこころにかなう者にお与えになることを知るようになる。」 4:33 このことばは、ただちにネブカデネザルの上に成就した。彼は人間の中から追い出され、牛のように草を食べ、そのからだは天の露にぬれて、ついに、彼の髪の毛は鷲の羽のようになり、爪は鳥の爪のようになった。

b) 王たちと商人たちの悲しみ。(9-16 節)

ヨハネは 9-16 節で、王たちと商人たちが悲しんだと語ります。

いつの日か、裕福な地上の権力者たちが自分たちの町の燃えるのを見て嘆き悲しむときがきます。

その町は一瞬にして破壊されます。

12-13 節は、全世界の富の大半がこの大都市に集約されることを示唆します。

王たちや商人たちが嘆き悲しむのも当然でしょう。

1929 年のウォール街大暴落について聞いたことがある人もいるでしょう。

当時の新聞記事の一部をここでお読みします。

コラムニストのウィル・ロジャーズは、1929 年 10 月 24 日のいわゆるブラック・サズデーにニューヨークにいました。

全国紙に掲載された彼の記事にはこうありました。

「ウォール街の混乱により、飛び降りようとする人たちが窓に列をなし、先物取引ではイースト川の土地が遺体安置のために売られた。」

ロンドンのゴシップ報道に力を入れる大衆紙のニューヨーク支局員は、「ロウアー・ブロードウェイは死体でいっぱい」と電報を打ちました。

これは、バビロンが破壊され、焼かれるときに王たちや商人たちが経験することのほんの一端です。

イエスは、「人は、たとえ全世界を得ても、いのちを損じたら、何の得がありません。」とおっしゃいました。

c) 船長たちの悲しみ。(17-19 節)

この個所から、世界中の貿易船はこの町の商いに頼っていることがうかがえます。

全世界の富を、一か所に輸送しているのです。

町が一瞬にして破壊されるのを見て、自分たちの商売もなくなったとわかりました。

4. 神の裁きをたたえる。(19 : 1-5)

神の裁きが地上にくだされたことで、大群衆が天で神をたたえて叫びます。これは奇妙に思えるかもしれませんが、神が愛の神であると同時に裁きの神であられることも忘れてはいけません。

喜びの声はまず、「ハレルヤ」と叫びます。

クリスチャン同士の会話では、この単語がよく使われています。

何か良いことが起こると、「ハレルヤ」と言います。

興味深いことに、この単語が新約聖書に登場するのは、黙示録 19 章の 4 回のみです。旧約聖書の詩篇には登場します。詩篇 113-118 篇は「ハレル詩篇」と呼ばれる神への賛美の詩篇です。ヘブル語でハレルは賛美を意味し、ヤは神の御名です。この個所では、ふたつの理由で神が称えられています。

まず、救い、栄光、力が神のものであるので、神は称えられます。これらの神のご性質に、人の心は応答したくなります。神の救いは感謝を、神の栄光は神への畏敬の念を、そして神の力は神への信頼を呼びます。そうすると、「ハレルヤ」と叫びたくなるはずですが。

次に、神が真実で正しい裁きをされたので、神は称えられます。「裁きは、罪に対する逃れようのない結果だ」と言った人がいます。神のみが完全な裁きをなさいます。私たちは正しい裁きができないので、気をつけていなければなりません。神の裁きが完全である理由が 3 つあります。

1. 神のみが、人の心の中にある考えや願望をご覧になれる。
2. 神のみが、偏見を持たずに裁くことができになる。
3. 神のみが、正しい裁きを下さる知恵と、それを執行する力をお持ちである。

適用

今日は、みことばから神についての多くの真理を知ることができました。最後にここで、まとめてみましょう。

1. 悪霊は実在します。気をつけましょう。

悪霊は、私たちの人生に対する神のみことばに対抗しようとします。そして、霊的成長を邪魔し、私たちを欺こうとします。けれども、覚えておいてください。

ヨハネ第一 4:4 子どもたちよ。あなたがたは神から出た者です。そして彼らに勝ったのです。あなたがたのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力があるからです。

2. 私たちは蒔いた種を刈り取るという意識を持って生きなければなりません。

自分の行動や人への接し方、神のみことばである聖書への応答に注意を払うべきです。私たちの行いが、災いではなく祝福となって返ってくるようにしたいものです。

3. 祝福を受け、世間にとって祝福となるには、この世と決別し、この世のあり方を離れなければなりません。

コリント第二 6 : 16-18

6:16 神の宮と偶像とに、何の一致があるでしょう。私たちは生ける神の宮なのです。神はこう言われました。「わたしは彼らの間に住み、また歩む。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。6:17 それゆえ、彼らの中から出て行き、彼らと分離せよ、と主は言われる。汚れたものに触れないようにせよ。そうすれば、わたしはあなたがたを受け入れ、6:18 わたしはあなたがたの父となり、あなたがたはわたしの息子、娘となる、と全能の主が言われる。」

4. 神の裁きは常に正しい。

神はすべてをご存じで、正しい裁きを下さるのは神のみです。私たちは、全地の裁き主が正しいことをして下さると信頼できます。